

# いわき民報

所行「報」民報  
社報民きわい  
第一八三號 電話一四三三  
已克輝千 人發行部  
號五十一部一 月一 價定

## 木材木羽板

平市材木町一三(電六八)  
織田木羽板平工場

## 市の幹線網決る

### 復興都市計画の發足として 工費一千万圓五ヶ年計劃で

平市の復興都市計劃は、二月中橋より警察前を経て新川町通り、復興院高木技師一行の實地調査を通ずる路線及び一丁目と紺屋町に基き、附近町村の一部編入に十字路より新川邊に出る路線、依り、周囲十キロ、人口十萬程の擴張、改修等を總工費一千万圓の都市たらしめることに大綱固で實施するにこの復興委員が決定されたので、先づ基本幹線會で決つた、尙この工費は八割線道路の整備から着手すべく、立まで國庫負擔で縣と市は一割の案中のところによつて、今二十一、二百万圓宛を負担すればよい、中年度から五ヶ年計劃で、中央幹線以外の新設改修は大體線路として驛前より新川邊に出、二十七本の豫定である。

## 幅員三十三米

### 素晴しい新道 長橋通りも擴張に決定

驛前より新川に通過する道路は、扇状の新道は、田町屋敷筋から先きを擴張するが幅員三十三米、これは以前の建設改修道路と異なり、戦災地を経て、に十五米にするもので何れも現警察側の三井氏邸の倍以上となる。

### 引揚者達に 温い援護

湯本町に生活擁護協同組合誕生

外地引揚者、復業者、戦災者の生活擁護協同組合が、鯉岡渡氏等七名の發起で湯本町に生れ、一般町民有志の参加も得て生活

### 酒の割當漸く決定 一戸當り月四合程度の配給

四月から新酒造年度に入つたが未だ一般用のお酒の配給もない

### 平の戦災者 引揚者調

市内戦災者總数は去月三十日現在で世帯數千二百二十六戸、四千七百二十八人、引揚者總数は千七百七十八人、五百六十八人で去る二十三日の結成大會より僅か一週間の中に二十二世帯四千六百人の増加である。

### 平勤勞署の敷地決定

舊訓育院の跡へ

平勤勞署の新敷地敷地は前訓育院跡と決定したので同署では早速署員を動員して昨日一日から敷地の整理に積極的に乗出した。

### 片倉製絲復活 時代の要求に應じ 今月中に準備完成

時代の要求に應じて大きく浮び上つた、生絲の増産運動に呼應して平市片倉製絲工場でもいよいよ今度活潑に再起する決定した、戦時中軍需工場への轉向を命ぜられ特に昨年三月以來二百四十臺の製絲機械を疎離したためその復舊には相當困難な状況下であり目下K.M式製絲機械百三十臺を設備中であるが今月一杯までに完成の豫定である。

### 優秀機械を 設備

濱三郡下の産物

では間に合はぬ片倉K.M式製絲機械は我國では最優秀なもので疎離した舊日全氏に返還された。

### 平のメーデー賑ふ

メーデーの朝九時平市では驛前どりの小旗をふる各行列は集合廣場に續々各炭礦工場、會社かを終つて各々市内を樂隊附でねら集つた一方を突破する人々でれり歩つたが中にはトラックまで動員して大賑ひだった。

### 月末までに完成 夏井川改修工事見透し着く

総工費二十五萬六千圓で着工中本夏夏井川村長等は連日朝から日

### 引揚者聯盟 世話人設置

今日初の會合を

新發した引揚者聯盟では世話人制度を設け各區に於ける世話人を推薦、配給連絡等の確立を計る事になつたが第一回の世話人會を今日開く事になつた。

### 流行性腦膜炎

平市鎌田三五職工川崎保太郎さん(四四)は二十七日流行性腦膜炎と決定、隔離後間もなく死亡した。

### 指定賣店を設置 食肉類の自由販賣制實施

食肉が自由に販賣されてます。食肉の配給制が撤廢になつたので平食肉共販組合では各市町村にそれ(販賣指定店)を設け、一週二、三日の割合で自由販賣を行つてゐるが百斤牛、豚肉二十圓、馬肉十五圓とあつては新聞生活に悩む一般家庭には不向なのか、或は自由販賣を知らないためか實行不良、平市内田町三二三屋肉店では久振りに自由に買へる昔の肉屋さん風景を描いた。

### 頗る好評な 技藝學校

既に五十名突破

平市立商工技藝學校は去月十六日から元藤田女學校に授業を開始したが、月謝二圓の外は経費が掛らない上、英語、洋裁、生花を始め普通學科も教へるので仲々の好評、それにいつでも入學出来るので現在既に五十名の生徒が在籍してゐるが益々殖へて来る傾向が強いので市教務課でも遊んでゐる人は勿論、働ながら通學出来る二部の利用を宣傳してゐる。

### 言寸きわ

終戦と同時に吾等國民は屈辱感も身も世もなかつたのは事實であるが、それにも増してホツト重荷を下したやうな感じの方が大きかつたのではないかと第一に挙げられるのは、一に挙げられるのは、二に挙げられるのは、三に挙げられるのは、四に挙げられるのは、五に挙げられるのは、六に挙げられるのは、七に挙げられるのは、八に挙げられるのは、九に挙げられるのは、十に挙げられるのは、十一に挙げられるのは、十二に挙げられるのは、十三に挙げられるのは、十四に挙げられるのは、十五に挙げられるのは、十六に挙げられるのは、十七に挙げられるのは、十八に挙げられるのは、十九に挙げられるのは、二十に挙げられるのは、二十一に挙げられるのは、二十二に挙げられるのは、二十三に挙げられるのは、二十四に挙げられるのは、二十五に挙げられるのは、二十六に挙げられるのは、二十七に挙げられるのは、二十八に挙げられるのは、二十九に挙げられるのは、三十に挙げられるのは、三十一に挙げられるのは、三十二に挙げられるのは、三十三に挙げられるのは、三十四に挙げられるのは、三十五に挙げられるのは、三十六に挙げられるのは、三十七に挙げられるのは、三十八に挙げられるのは、三十九に挙げられるのは、四十に挙げられるのは、四十一に挙げられるのは、四十二に挙げられるのは、四十三に挙げられるのは、四十四に挙げられるのは、四十五に挙げられるのは、四十六に挙げられるのは、四十七に挙げられるのは、四十八に挙げられるのは、四十九に挙げられるのは、五十に挙げられるのは、五十一に挙げられるのは、五十二に挙げられるのは、五十三に挙げられるのは、五十四に挙げられるのは、五十五に挙げられるのは、五十六に挙げられるのは、五十七に挙げられるのは、五十八に挙げられるのは、五十九に挙げられるのは、六十に挙げられるのは、六十一に挙げられるのは、六十二に挙げられるのは、六十三に挙げられるのは、六十四に挙げられるのは、六十五に挙げられるのは、六十六に挙げられるのは、六十七に挙げられるのは、六十八に挙げられるのは、六十九に挙げられるのは、七十に挙げられるのは、七十一に挙げられるのは、七十二に挙げられるのは、七十三に挙げられるのは、七十四に挙げられるのは、七十五に挙げられるのは、七十六に挙げられるのは、七十七に挙げられるのは、七十八に挙げられるのは、七十九に挙げられるのは、八十に挙げられるのは、八十一に挙げられるのは、八十二に挙げられるのは、八十三に挙げられるのは、八十四に挙げられるのは、八十五に挙げられるのは、八十六に挙げられるのは、八十七に挙げられるのは、八十八に挙げられるのは、八十九に挙げられるのは、九十に挙げられるのは、九十一に挙げられるのは、九十二に挙げられるのは、九十三に挙げられるのは、九十四に挙げられるのは、九十五に挙げられるのは、九十六に挙げられるのは、九十七に挙げられるのは、九十八に挙げられるのは、九十九に挙げられるのは、百に挙げられるのは、

### 糸姫百名が 十日に入所

一方これに應じて一日午前十時から同工場青年學校に今度新しく採用する糸姫百名の身体検査を行ふが更に先には縣下三ヶ所を巡回中の糸姫二百名も来月早々歸場するので、これに全く陣容を整備され操業することになつた。

### 簡保申込激減 新運動を展開

平郵便局四月中の簡保保險新規申込受付は新舊生活が反映して

### 簡保申込激減

平郵便局四月中の簡保保險新規申込受付は新舊生活が反映して

### 簡保申込激減

平郵便局四月中の簡保保險新規申込受付は新舊生活が反映して

### 簡保申込激減

平郵便局四月中の簡保保險新規申込受付は新舊生活が反映して

代用食の入手困難でお家所の懐も相当深刻化して来た昨今、更にお魚やお野菜の出廻薄で副食物も仲々大變、これが刻々忍び寄る五月危機だ、この食糧難から多い家族を救はふと續けるお諸の買出は船詰列車と闘ひ、産地側の冷遇に耐え、恐いお役人の監視の眼を免れ、乏しい  
**五月危機に挑む買出行** 勞と闘つて細々新園と極度の疲れてゐる、こんな苦勞をしなければ喰べられない人達の苦しみもまた大變である、以下は記者がその人達から聞いた買出行の實状である

# 炭礦の人々が大部分

## けふこの頃も二百名平均出動

買出部隊の狙つてゐる諸の産歸りを祖ぶれば買出の人達は地は茨城縣も常磐線は殆んど買出し、特に炭礦の人々が大部分を占め、今は水郡線並に石岡線由で仲々お諸の買へないけふこの産歸線の沿線を選んでゐるやう頃でさへ日に百五十名乃至二百だ、昨秋は一貫六、七圓から名を算へる、この人達は平均八高くして十五、六圓で買へた甘藷、九貫五のお諸を背負つて歸るも十圓の二十五圓乃至三十圓也、諺に云ふ通り、買出たばかりでこれを平市附近で買込むと三十圓の男もあり十一、二才の國民學五圓から四十圓の相場と云ふか、校兒童でも十貫以上背負ふ哀れお諸も莫迦に出来ない、朝五時平歸始發の上り列車は先づ日

### 苦しい懐中

#### 買出の中に利純を狙ふ

ではこのお諸でどの位の日數代でゐる、だから種を掻き扱つて、用食に當てられるだらうか?、たり、素行を悪くしたりするの五人以上の家族では精々三日間をお互に止めませう...と呼ばれたい、ボロボロ地下足袋に被れお諸を買込む家計も仲々面當たないが炭礦のある娘さんの精明があれは一回二百圓の背負込みでも月に四回は可能、その中出戦術ですよ」とあつさりして三分の一か半分を炭礦で近所ゐるに分けてやれば思つたより高い諸でない...

### 同胞愛で

生きる爲に 取扱ひにも温く 此は買出行に行く人達は相当食糧に困つてゐる人達ばかりだからこれをお互同胞愛で援助して行きたるもの、荷物が大きいので列車中では鼻つまみ驛員の態度もお客扱ひでない、現地の警察も官に至つては非人扱だ炭礦から出掛けたある男は同じ中學生と共同現地の警察官を川に放り込んでお、また幼い子供達が買出取締に遇つてお諸の取上げを懼れ強行したり、冷めたお諸のホッ

### 陽氣な連中上映

新線五月を飾る平市戦後作られた『浦島太郎の後のの映畫界は平松竹一、他は丹下左膳の洋畫が多く古臭い映畫ではあるがアメリカの『陽氣な連中』(平松)の映畫『陽氣な連中』が加つてゐる、邦畫では終

### 買出し戦術

#### 産地への

等は勿論か?、湯本?、綴か?と聞くあたり相当炭礦から出掛けて行つて地方の名前が知れ中

### 五月の月映畫

五月二日から、ソグイート喜劇映畫『陽氣な連中』九日から、松竹映畫中代上

### 文化

### 五月の手紙

千輝 克己

### 短歌

文藝俱樂部 短歌部推選 諸橋富彌

### 汚る流る新川

五月の月映畫二話

### 愛戀文選

概梗 鐘の市慶

### 舊主人

諸橋富彌

### 選學文愛戀

概梗

### 歌短

文藝俱樂部 短歌部推選

### 舊主人

諸橋富彌

原主主演『新道前篇』十六日から佐野周二主演『花は偽らず』二十三日から『新道後篇』  
傳次主演『百萬兩の壺』  
▼九日から米國映畫『ソグイート』  
▼十六日から、東寶映畫『藤田進高峰秀子主演『浦島太郎の後のい』』二十三日から米國映畫『パトリック・ワウラス主演『風雲のベンガル』』

なつかしい兄弟!  
ゲーテの周圍に集つた女性、例へば『ウイヘルム・マインステル』に出るマリアーネでも、フイリネでも、テレゼでも、ミネオンでも、皆相當に致意ある女性ばかりです、ウイヘルムが旅で大怪我をした際、フイリネが手厚い看護をしました書いてあります  
フイリネさんとウイヘルムは云つた、今度出會つた災難では、僕はもうどれ位あなたのお世話になつたか知れないで、これ以上御恩を受けたくないんだ、あなたが側に被入つしやる限り僕はどうぞも落つけないんですよ、どうしてあなたの御骨折りに酬いたらいいのか、僕には分りませんがね、どうかあなたの旅鞄のお徳を助かつた僕の品物を出して下さい、そしてあなたは外の連中に加はつて他の宿をとつて下さいな、それから僕の謝意を汲んで、あの金時計を寸志として納めて置いて下さい、たゞどうか僕を離れて下さい、あなたが側にいられるために、僕の感ずる不安はともあなたに想像されるやうなものではありませんよ。

戀せる妻を失つた、ある愛戀者、愛戀の心を由に由なく唯手喚の中の妻の遺體のみ眺めては、獨り寂しくこの世を送らうと思ひ、尼寺の多いブリュウジの廢市を選んで、其處に佇しい日を過してゐた。彼は日毎その沈黙のものを、やうな廢市の街を散歩してゐた、ある雨の夕暮、霞み渡る燈影の中に、ふと亡妻を生寫しに影のやうな一人の女を發見し思はす胸の高鳴るのを禁じ得なかつた。この女は旅から旅を渡す女役者だつたが、彼は慕はしさをなれませんでした、彼は慕はしさを、どうしたら貴方のおためになるか、あたしの方が貴方よりも余程よく知つてますよ、あたしは此處にゐるつもりで

たる亡妻の遺骸を見出した。彼は女が自分を嘲り罵る有様に、心亂れ誤つて彼女の咽喉を絞めて死に至らしめた。  
窓の外には、全市の鐘が頻りに鳴り渡つてゐる。(佛のローレンツの作)

處は信州小諸。その家の主人は銀行の重役。長年連れ添つた前妻を離別し、へう綴望みで今妻綾子を後添へに迎へた。二人の年齢はかなり相違してゐるばかりでなく、その間には子供がない、然る綾子は都會育ちの派手好み、結婚當座は兎に角、やがて判載のない無聊と、愛のない寂寥とは、綾子をして堪へざる空虚に突き落した。そこへ若い美男の齒醫者が現れた。夫婦の床は別々に敷かれるやうになつた。綾子と齒科醫の浮名はいつか片田舎に廣まつた。夫の耳にも入つた。然も二人のアイ史的現場さへ押へられた。作者はこの緊張したクライマックスで筆を擱いてゐるがすべて女中お定の回想の詩の形式で書かれてゐる。(明治三十五年島崎藤村作短稿)

文藝俱樂部 短歌部推選 諸橋富彌

内郷町下郷の野天温泉 風呂がその一つ、緩、平間バスはた、噂ふためであり家族の取締官も、車中の大衆も、陽ざしに子供、老人、男、女、入られて一見汚ない濁水に喜々として浸つてゐる、この湯は常警察署の坑内排水で効用は湯から放出する坑内排水で効用は湯本の温泉と變らず神癒痛その他に特効があるといふ

炭礦から排出する濁水と共川川底を除々に川下へ流れ石炭の屑も相當ある、狭い新川堤で川舟を繰り砂利採取の方法で拾つてゐる、五、六艘の舟で採取が一日で新川おちの道路に小さな山を築く、然る綺麗に洗はれた土に上質とある、平市内でこの川底資源に燃料を依存する工場も多く、市内ではなかなか重要な地位を占めてゐる

相手の言葉が切れると、フイリネは面と向つて笑ひ出した、貴方も随分馬鹿ですわねえ、それやととも利巧にやなれませんかと彼女は慕はしさを、どうしたら貴方のおためになるか、あたしの方が貴方よりも余程よく知つてますよ、あたしは此處にゐるつもりで

たのしみは歌作らんとまごゐ居て紫の煙くゆらせるとき  
君は君刻みつめ替へ歌思ふや茶の冷えしすら知らずまた  
ちりちりと炭火はせなる音懐し  
歌作人のまごる静けみ  
うち對ふ火鉢の繪す歌思へば  
七重伽藍のそのかみと見て  
春の月のかそけき光のゆえに  
燈はさむに思ふ  
三春路や胸もいなくふもとより  
梅も櫻も一時に咲く  
春淺き今宵のつどひたのしかり  
若人達と歌合せする

鹽屋 山崎與三郎 平市古銀治町電三七

百澤商店 百澤易與 平市四丁目電一一

ツルヤ 猪狩庄平 平市四丁目電一四〇

横山商店 横山影介 平市三丁目 電九四

釜屋商店 諸橋久太郎 平市五丁目電九九

祝日刊